

「ごみ」って何だろう？



～自然界に「ごみ」は存在しない～
今回は生ごみのこと、一緒に見つめ直そう！

課題①

災害やコロナの時...



ごみ収集がストップ!



生ごみ、どうする？

課題②

日本は食料の1/3廃棄してる



燃えるごみの38%生ごみ

生ごみの8~9割は水分なのに年間2兆円も私たちの税金が使われているよ...

課題③

生ごみ活用

1 とにかく水分を飛ばして量を減らす



2 おいしく再利用ベジブロス



3 賃貸暮らしの人もできる!

ダンボールコンポスト



4 家畜に食べてもらう

いいけど、おいしいものにしてね



実践者の声

研究員 まあむ

私はスーパーでほとんど買い物をしません

翌年またタネをまくよ

自炊して食材からタネをとり

生ごみは畑において



野菜の成長を促すおしっこ出します

シマミミズは超優秀なやつ♡

生ごみを食べてくれる

シマミミズ君の好物 メロン

にがて

みかん・ネギ系



基礎から学ぶアグロエコロジーセミナー

有機農法をイチから一緒に学びましょう◎
くわしくは2ページ以降で!



母なる地球を 守ろう研究所



自然界にごみは存在しない、ごみは人間が生み出した

長谷川浩（理事長）

江戸時代までは、ごみは割れた瓦ぐらいで他は完全循環されていました。

- ・そもそも食品廃棄はほとんどなく、生ごみは鶏や鯉などの餌でした。
- ・衣料は天然素材だけで、徹底的に再利用されました。
- ・使い捨てプラスチックはもちろん存在せず、紙製品も貴重で使い捨てはありませんでした。
- ・し尿も肥料で、今のように廃棄物として処分することはなく、有価物として農家が買い取りました。

これほどごみが出るようになったのは、産業革命が進んで土地に根ざしていた農民が強制的に土地から剥がされて都市に住む消費者になってからです。消費者は農地などの生産手段を持たず、すべてを購入するようになりました。企業は消費者に少しでも多く買わせることが利益につながります。結果として、消費者が多く消費すればするほどごみが大量に生み出されるようになりました。紙はリサイクルの優等生ですが、全体からみれば例外的です。現在の社会システムでは、生産⇒消費⇒廃棄するワンウェイ（直線的）の流れとなっているので、結果、環境に多大な負荷がかかるのはある意味当然の帰結です。

では、どうしたらよいのでしょうか？ 消費量を大幅に削減すること、そして消費したものは完全循環を目指す、の二つが大きな柱です。

- ・生ごみもし尿もリサイクルする。
- ・消費者から生産消費者（Prosumer）になる：多くの人が自家菜園、自給水田、庭先養鶏、DIY、いろいろな手仕事をできるように、行政が支援する。
- ・義務教育において、自ら育てて調理して食べる食農教育、DIY や手仕事の基礎を履修する。
- ・産業構造を変革するため、ごみを出さない技能習得が可能な職業訓練を行政が無償で提供する。

を提案します。さらに突き詰めれば、葬儀で死体がすべて火葬になるのも自然界にはない「不自然」なことです。死体を堆肥化する海外の試みもあります。日本でも将来実現したいです。

『人間の遺体を堆肥に 米国内で初めて合法化』BBC ニュース

<https://www.bbc.com/japanese/48361574>

食べることは毎日なので、生ごみは毎日出ます。生ごみの減量や有効活用からまずは実践してみたいかがでしょうか。買い物のごみも、以下のようなスーパーや八百屋が全国に増えれば劇的に減らせそうです。

井出留美『日本初！ごみも食品ロスも出さない京都のスーパー「斗々屋」その工夫と最新鋭の量り売りシステムとは？』Yahoo ニュース

<https://news.yahoo.co.jp/byline/iderumi/20210824-00254263>

堆肥を作るために掘った溝は魔法の溝

伊丹ルリ子（理事）

有機農業を実践していると堆肥がいくらあっても足りません。草もよく生えるので、刈った草で草堆肥を作るために、長さ10m、幅0.5m、深さも0.5mの溝を知り合いに重機（ユンボ）で掘ってもらいました。当初の目的通り、刈った草、畑で発生した野菜クズ（食べれないところ）を入れて、上に刈った草をたっぷり乗せました。そのうちに、家の生ごみも持参して入れるようになりました。

匂いやハエなどの虫が発生するのではないかと心配でしたが、嫌な臭いもなくハエも発生しませんでした。梅雨期も、暑い夏も問題なく乗り切りました。刈った草は微生物が分解してカサが減っていきます。減った分だけ、草を刈って乗せていくことの繰り返しでした。

畑に長時間いるとトイレが問題になります。堆肥場の周りは草だらけで、周囲から全く見えないのをよいことに、遂には堆肥場はトイレにもなりました。用を足した後は、周囲の草を刈ってたっぷり被せておくだけです。今日は1年ぶりどうなっているか知りたくて、上に乗っている草をどけて見てみました。何が出てくるかドキドキしましたが、そこは、黒っぽい堆肥になっていました。

なお、堆肥場にしたのは元々は水田でした。私がお借りしてから6年ほどは、畑にしてトラクターも使わず、排水を良くするために溝をつけています。そのせいか、溝に水が溜まることはありませんでした。水が溜まる条件だと、嫌気発酵して悪臭が発生したり、ハエも発生したかもしれません。

草堆肥に棲んでいるであろう微生物の力に感心するばかりです。堆肥を作るために掘った溝は魔法の溝になりました。



刈った草、野菜クズ、生ごみ、糞尿を投入した堆肥溝



1年後、黒っぽい色の堆肥になって、嫌な匂いもなく良い感じでした。なお、用を足すための橋は徐々に移動していきました。同じところでずっと用を足すことはありません。